

■米国：トランプ政権の予算案概要で EPA の予算が大幅削減

2017年3月16日付のワシントン・ポスト紙によると、トランプ政権は、連邦政府機関のエネルギー・環境部門の大幅な予算削減を含む予算方針案を発表した。トランプ大統領は、国民の安全を第一優先に掲げており、国防省や国家安全保障省への重点配分を要求する一方、米国環境保護局（EPA）の予算を前年度より31%以上削減することが提案されている。また、エネルギー省の予算は約6%の削減が提案されている。この削減には、エネルギー高等研究計画局（ARPA-E）が実施しているクリーンエネルギー関連の研究への長期的な投資の打ち切りが含まれている。一方で、ユッカマウンテン最終処分場の承認手続きの再開などへの予算措置や、電力システムのサイバーセキュリティ対策や信頼度向上対策への予算措置を要求しており、「nuclear capability の強化」や「インフラ投資」といったトランプ大統領の従来主張を反映したものとなっている。